

授業科目名	スクールソーシャルワーク演習	科目コード	K1504P12
英文名	Seminar in School Social Work		

科目区分	子ども育成の相談・援助
------	-------------

職名	教授	担当教員名	村上 満
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	4年前期	授業の方法	講義
必修・選択	自由	単位数	1単位

授業の概要	<p>学校における相談援助技術の展開についての知識と技術を演習から理解する。特に、総合的かつ包括的な援助を必要とする具体的事例を用いることにより、関係機関との連絡、調整のあり方等について学ぶとともに、学校内、市町村、教育委員会のシステムについて理解する。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	アセスメント	マイクロプラクティス	メゾプラクティス	マクロプラクティス
-------	--------	------------	----------	-----------

到達目標	個別事例へのアセスメントだけでなく、学校、地域、教育行政へのアセスメントを理解できる。(50%)
	スクールソーシャルワーク実践（マイクロ、メゾ、マクロプラクティス）について理解できる。(25%)
	スクールソーシャルワークを学校内で記録化する手法について理解できる。(25%)

**卒業要件・資格関連等**

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援

**キー・コンピテンシー（重視する能力）**

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

**教授方法（授業方法）**

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション：学校教育現場におけるソーシャルワークの価値について ・福祉の視点を教育と調和させながら示せる安定した福祉の価値観	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第2回	ソーシャルワークの展開におけるアセスメントとは（学校アセスメント） ・学校の実態や状況、組織システムの把握	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第3回	ソーシャルワークの展開におけるアセスメントとは（地域アセスメント） ・地域の実態や状況と市町村内の社会資源の把握	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第4回	スクールソーシャルワーク実践（マイクロプラクティス） ・個別事例による具体的な援助の展開方法とアウトリーチ	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第5回	スクールソーシャルワーク実践（メソプラクティス） ・校内や関係機関等とのケース会議を進めるための手法について ・チームアプローチやマネージメントスキルを必要とする事例に学ぶ	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第6回	スクールソーシャルワーク実践（マクロプラクティス） ・新たな相談体制を開発するソーシャルワークの実践について ・地域に根ざした福祉・教育協働の相談活動の展開について	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第7回	スクールソーシャルワークを維持・発展させる力（記録の意義） ・記録やデータの蓄積を行っていくことについて	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第8回	スクールソーシャルワークを維持・発展させる力（スーパービジョン、評価） ・地域でのスーパービジョン体制のあり方と効果測定について これまでの振り返りとまとめ	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目してくる	30分
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標項目 1 ~ 3 は、模擬ケース会議におけるアセスメントやロールプレイ等、事例への取り組み姿勢で評価する。(80%)</p> <p>受講態度・出席カードの記述内容等で評価する。(20%)</p> <p>なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。          人間性：20% 社会性：30% 専門性：50%</p>		
使用資料 <テキスト>	『学校ソーシャルワーク演習』 門田光司 他 (ミネルヴァ書房)	使用資料 <参考図書>	毎回の授業で、関係資料を配布する。 日本学校ソーシャルワーク学会
授業外学修等	<p>上記時間外においても、予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。          毎回講義の開始時に、振り返りのための復習課題を課す。</p> <p>児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておくこと。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜・3限 E709村上研究室</p>		